

【江戸川区オリンピック・パラリンピック推進計画】
 ①自立と社会参加のできる子の育成
 ②異文化理解を深め、共生社会の実現に寄与できる子の育成
 ③健康で、将来の夢をもち、夢に邁進できる子の育成

学校の教育目標
 ・健やかな人
 ・知性に富む人
 ・心豊かな人
 ・勤労を尊ぶ人

【地域の実情】運動施設・環境が整っている。
 【学校の実情】運動施設・環境が整っている。
 【子どもの実態】部活動や地域で、多くの生徒が運動に親しんでいる。
 【教師の願い】関心を持ち、生涯にわたるスポーツを楽しむことのできる生徒。
 【保護者の願い】スポーツを通し健康的に暮らすことのできる子ども。

学校のオリンピック・パラリンピック教育の重点目標
 オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運の醸成を図るとともに、オリンピック・パラリンピック開始後も教育的遺産を残せるよう、その取り組みを充実させる。
 ①国際理解⇒「留学生が先生」を継続的に実施する。各教科と連携して、国際理解における基礎を定着させる。
 ②人権尊重教育⇒江戸川ボランティアセンターと連携し、学年毎に障がい理解体験学習を行う。
 ③自国の理解⇒芸術鑑賞教室において、我が国の文化につながる学習を行う。
 ④体力向上⇒授業や部活動において補助運動の導入し、定期的な記録会で自己の記録に挑戦する態度を養う。

めざす生徒像		
One for all, All for one (ボランティア精神の醸成)	世界はひとつ (異文化理解・共生社会の創造)	Challenge your limits (限界への挑戦)
・自ら考え、行動し、自律した考えをもつことのできる子 ・先人の培ってきた、江戸川区のボランティア精神を誇りに思い、自ら率先してボランティア活動を継承できる子	・ふるさと江戸川や国を愛するとともに、他者と協働して、平和な世界の発展に寄与できる子 ・共生地域の実現をめざし、障害があるないに関わらず、全ての人々が自己実現を目指すことができる社会の実現を考えられる子	・生涯を通して、健康的な生活を送ろうと考えられる子 ・自らの夢や高い理想をもち、その実現に向けて、不断の努力を行える子
学習活動(日常的な指導・各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・読書科・部活動)		
1年	・副籍制度を利用した交流及び協働学習 ・遠足 ・食育 ・オリパラ読本、オリパラ学習ノートの活用 ・芸術鑑賞教室	・SOSの出し方教育出前講座 ・トップアスリートとの交流 ・部活動 ・体力向上(補助運動導入)
2年	・副籍制度を利用した交流及び協働学習 ・林間学校 ・食育 ・オリパラ読本、オリパラ学習ノートの活用 ・芸術鑑賞教室	・SOSの出し方教育出前講座 ・トップアスリートとの交流 ・部活動 ・体力向上(補助運動導入) ・チャレンジザドリーム
3年	・副籍制度を利用した交流及び協働学習 ・修学旅行 ・食育 ・オリパラ読本、オリパラ学習ノートの活用 ・留学生が先生 ・芸術鑑賞教室	・SOS出し方教育出前講座 ・トップアスリートとの交流 ・部活動 ・体力向上(補助運動導入)

環境整備
 ○健康な心身の育成
 ○美化活動
 リサイクル運動、学校花壇農園の充実

家庭・地域との連携
 ○保護者会、地域懇談会の充実
 ○外部評価の積極的活用
 ○学校便りやホームページの活用

推進体制
 区全体の推進計画を受けて、運営委員会内における各分掌会・学年会との連携を図りながら全校体制で実行する。